



2020年7月30日

各 位

会 社 名 レック株式会社
代表者名 代表取締役社長 永守 貴樹
(コード：7874 東証第1部)
問合せ先 専務取締役管理本部長 貝方士 利浩
(TEL. 03-3527-2150)

当社静岡第2工場における火災発生について(第4報)

2020年7月5日に当社静岡第2工場において発生した火災事故につきまして、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様には心からお悔やみ申し上げます。また、負傷された方、近隣の皆様ならびにご関係者の皆様には、多大なご迷惑、ご心配をおかけしておりますこと、深くお詫び申し上げます。

当事故の発生を受け、2020年7月25日に第1回事故調査委員会を開催いたしましたので下記のとおりご報告申し上げます。

また、2020年7月15日付「当社静岡第2工場における火災発生について(第3報)」の内容に一部訂正事項がございますのでお知らせいたします。

記

1. 第1回事故調査委員会概要

(1) 目的

事故調査委員会では、出火原因と広範囲な燃焼が生じた原因調査と検証を行い、再発防止対策について検討することを目的とする。

(2) 委員会の構成

事故調査委員会は、東京大学田村昌三名誉教授を委員長とし、社外の委員2名及び社内の委員2名により構成する。

(3) 議事概要

事業所の概要及び事故の状況に関する報告があった。
今後の事故調査委員会の進め方について検討を行った。

2. 2020年7月15日付「当社静岡第2工場における火災発生について(第3報)」からの訂正事項は以下のとおりです。

8. 2020年7月7日記者会見について

(2) 会見内容(要約)

⑤2018年7月におきた静岡第2工場での火災原因及び当社の対策について(要約)

(訂正前)

同工場では2018年7月に火災が発生しております。当時の調査において、出火元に過炭酸ナトリウム混合物が保管されていたことから、同原料が自然発火に至るか、再

現実験を行ないました。再現実験では、同原料による自然発火の再現性は認められなかったものの、同原料を大量に保管している状況で熱が出る可能性が認められたため、当社では同原料を出火原因と推定しています。

このため、当社では同原料の使用を一切取りやめております。

(訂正後)

同工場では2018年7月に火災が発生しております。当時の調査において、出火元に過炭酸ナトリウム混合物が保管されていたことから、同原料が自然発火に至るか、再現実験を行ないました。再現実験では、同原料による自然発火の再現性は認められなかったものの、同原料を大量に保管している状況で熱が出る可能性が認められたため、当社では同原料を出火原因と推定しています。

このため、当社では同原料の使用を一切取りやめており、以後は組成の異なる過炭酸ナトリウム混合物を使用しております。

以上